

《担当者名》 志水 幸 [koh@hoku-iryo-u.ac.jp]
 大嶋 巖(非) [i-oshima@tfu.ac.jp]
 加藤敬太(非) [keitakato@mail.saitama-u.ac.jp]

【概要】

この講義では、臨床における「アドミニストレーション」の枠組みやプログラム評価、事業展開に関する経営戦略のあり方について概説する。

【学修目標】

1. 臨床における「アドミニストレーション」の枠組みを説明できる。
2. 自らの臨床にプログラム評価の手法を適用できる。
3. 自らが所属する組織の経営戦略について構想できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	イノベーションと第三者性	組織改革における第三者性の意義	志水
2	アドミニストレーションの枠組み	社会資源（組織におけるヒト・モノ・カネ・情報等）の運営・管理	志水
3	組織のアドミニストレーションとプログラム評価の活用	利用者主体の組織運営に求められるリカバリーゴールの実現と学習する組織	大嶋
4	福祉プログラム評価論総論	プログラム評価の定義、活用の意義、評価階層、ソーシャルワーク実践との関係性など	大嶋
5	各論：制度の狭間問題への対応～効果モデルの設計・開発	ニーズ評価と理論評価を活用した効果モデルの設計・開発評価	大嶋
6	各論：成果の上がない制度モデルの改善・再設計	前回課題に加えてプロセス評価（効果的援助要素の抽出、フィデリティ評価尺度の構築）の設計・実施	大嶋
7	各論：導入した効果モデルの形成・改善、エビデンス生成	プロセス評価（効果的援助要素の抽出、フィデリティ評価尺度の構築）とアウトカム評価の活用	大嶋
8	各論とプログラム評価論まとめ：海外のEBPプログラムの導入と実施・普及、評価キャパシティの組織定着	EBPプログラムの技術移転、実施・普及のための組織レベルの実装方略の構築	大嶋
9	経営学と臨床を考える	臨床の現場でどのように経営学（経営組織論・経営管理論・経営戦略論）を活かすのか。実学と理論の関係にも言及。	加藤
10	域社会と企業経営	医療の現場と地域社会は切っても切り離せません。私のフィールド調査の事例を紹介しながら理解を深めます。	加藤
11	企業ドメインの経営戦略	経営戦略論で基本概念となる企業ドメイン（存在領域かつ戦略領域）に関して学びます。	加藤
12	企業家活動の4類型	企業家とはイノベーションの担い手のことであります。近年の経営戦略論では重要な概念と位置付けられています。4つの代表的な企業家活動の古典的研究を紹介します。	加藤
13	地域オープン・イノベーションと企業家活動	医療現場と切り離せない地域社会。その中で、企業家活動を通じたイノベーションをどのように起こせばいいのか、オープン・イノベーションの考え方を応用する見方を提供します。	加藤
14	CSRと経営戦略	経営戦略においてCSR（corporate social responsibility）の着想を活かして成長することが不可欠な時代です。戦略的CSRの発想を事例を交えて議論します。	加藤
15	課題と展望	総括と今後の課題	志水

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

課題レポート（50%）、プレゼンテーション（50%）

【教科書】

特に指定しない。必要な資料等について、適宜配布する。

【参考書】

必要に応じて、適宜指示する。

【備考】

この講義は、学則上の選択科目であるが、高度実践コースを履修する学生については必修科目である。

【学修の準備】

自らの実践を振り返る手法の一つとして、ケース研究の手法についての基礎的な知識が必須である。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、臨床福祉学における高度な専門性と研究能力を修得するという臨床福祉学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。